

標準委員会 発電炉専門部会 定期安全レビュー分科会

第4回 (P6Ph2SC4) 議事録 (案)

日 時： 2008年6月26日(木) 13:30 ～ 16:20

場 所： 東京都 JNES 本館 4B 会議室

出席者： 平野主査 (JAEA)、岡本副主査 (東大)、成宮幹事 (関電)、上野委員 (MRI)、
及川委員 (JAEA)、大橋委員 (中部電)、奥田委員 (原電)、河井委員 (原技協)、
小林委員 (JNES)、田畑委員 (関電)、古橋委員 (東電)、前田委員 (保安院)、
三浦委員 (JNES)、持丸委員 (保安院)、

説明者： 古田 (関電)、石井 (JNES)

常時参加者： 赤間 (東北電)、高木 (原技協)、大家 (関電)、名畑 (北海道電)、鞍本 (電発)、
小武守 (中国電)、萩原 (九電)、吉田 (四電)、秋月 (JNES)、田邊 (東電)、杉山 (東電)

オブザーバー： 無し (敬省略)

配付資料

- P6Ph2SC4-1-1 前回の議事録(案)
- P6Ph2SC4-1-2 前々回の議事録(案) (修正版)
- P6Ph2SC4-2 PSR 実施基準の考え方について
- P6Ph2SC4-3 PSR 実施基準の骨子について
- P6Ph2SC4-4 PSR 実施基準への安全文化関連事項の反映について
- P6Ph2SC4-5 PSR 実施基準への安全文化にかかる記載について (改1)

参考資料

- P6Ph2SC3-参考1 実用発電用原子炉施設における定期安全レビュー実施ガイドライン案
(第3回分科会配付資料)

議事及び主な質疑応答

(1) 出席者確認・資料確認

成宮幹事より、出席者数を確認し全委員数 15 名のうち 10 名が出席しているため、本分科会の定足数を満たすことが確認された。議事次第に基づき配布資料の確認を行なった。

(2) 前回議事録(案)の確認

成宮幹事より、資料 P6Ph2SC4-1-1、4-1-2 を使用して前回の議事録案及び前々回の議事録案の修正箇所の確認がなされ、承認された。

(3) 人事について

常時参加者として、荒川氏（原技協）の辞退、ならびに、新たに高木氏（原技協）の参加の申出があり、承認された。

(4) PSR 実施基準の考え方について

成宮幹事より、P6Ph2SC4-2 を使用して PSR 実施基準の考え方について説明があり、質疑応答、議論がなされた。

「最新のプラントと同等の高い水準を維持」、「安全運転を継続できる見通し」の意味合いの明確化について議論され、下記の修正をしたうえで、本資料の(案)をとり固定し、今後、必要に応じてリバイスすることが確認された。また、3つのレビュー項目と見通しと関係の考え方は重要であるので、標準の解説などに記載する方向で検討することとなった。

- ・ 資料 4-2 の a 項 5 行目の「今後 10 年間は仕組みが維持されていく見通し」は「今後とも仕組みが維持・改善されていく見通し」と修文
- ・ 同上 6 行目の「法令や規格基準などの重要な技術的知見を調査・・・」は「法令や規格基準などに反映されている重要な技術的知見を調査・・・」と修文

(5) PSR 実施基準の骨子について

成宮幹事より、P6Ph2SC4-3 を使用して PSR 実施基準の骨子について説明があり、質疑応答、議論がなされた。

「自主的取組み」というキーワードを今後どう取り扱っていくか、目的に応じた改善の意味合いの明確化について議論され、「自主的取組み」の扱いは「改善活動」の定義と合わせて今後議論していくことが確認された。また、下記の修正をしたうえで、本資料の(案)をとり固定し、今後、必要に応じてリバイスすることが確認された。

- ・ 資料 4-3 の 5.2.1 項の 1 行目の「・・・重要と考えられる、自主的取組みを中心とした改善活動について・・・」は「・・・重要と考えられる改善活動について・・・」と修文
- ・ 同上の 7 項の「・・・期間中の保安活動の変更を・・・」は「・・・期間中の設備変更及び運用変更・・・」と修文

(6) PSR 実施基準の安全文化関連について

古田氏より、P6Ph2SC4-4、4-5 を使用して PSR 実施基準の安全文化関連について説明があり、質疑応答、議論がなされた。

標準の中に JNES10 項目のような安全文化を診る視点を記載するかどうかについて、安全文化は多種多様なので、安全文化アンケートで全体的な俯瞰はすることとして、標準に具体的な視点は規定せず、安全文化の取組みの重点課題は各社毎に決めるべきだ、規格である以上、一般的、抽象的なものでは駄目で、ある程度は決めるべきだなどの意見があった。

本資料では、安全文化の自己評価をし改善をするとの事業者の決意を書いているので良

いが、漠然としているので、もっと書き込みをすること、JNES10 項目のようなものを、参考ないし解説に入れることが確認された。

(7) その他、次回日程調整など

成宮幹事から、次回を 8 月下旬としたいとの提案があり、調整の結果、8/26(火)午後を仮決めした。また、次回に標準のドラフトが提示されること、それを分科会の数日前には各委員に送付することが確認された。

以 上